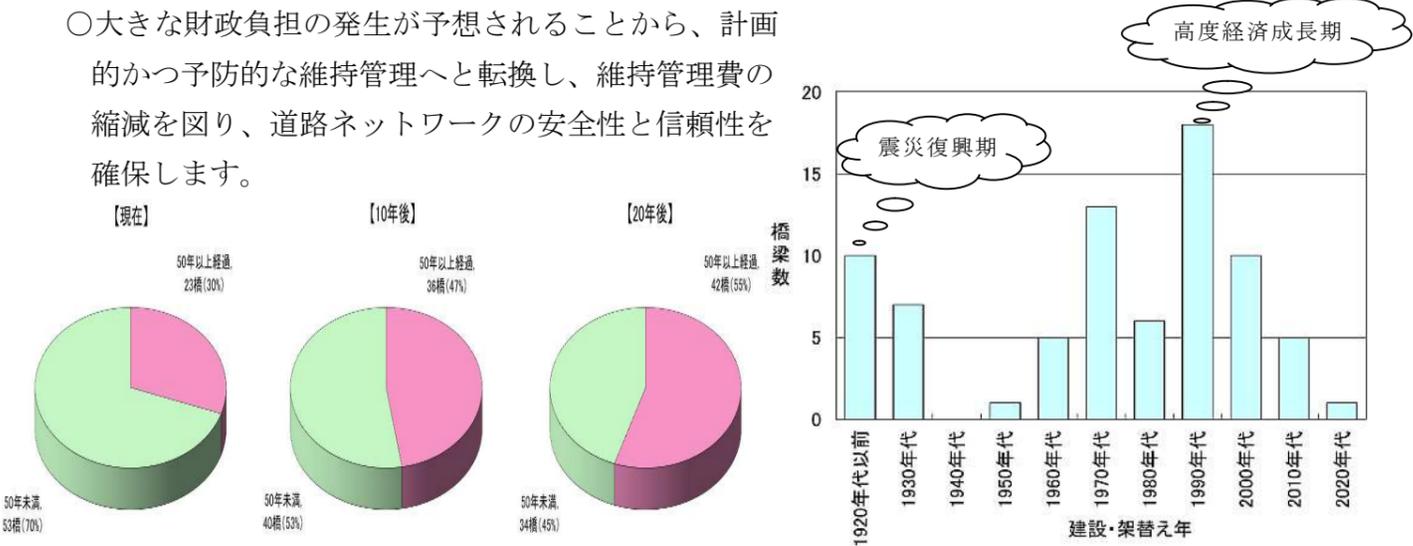


江東区 橋梁長寿命化修繕計画

江東区が管理する道路橋を対象にして、維持管理費の縮減と平準化を図り、道路ネットワークの安全性と信頼性を確保するための計画を改定しました。

背景と目的

- 江東区は、85 橋（道路橋 70 橋 人道橋・横断歩道橋 15 橋 2020 年 3 月現在）の橋梁を管理しています。
- 江東区は震災復興期に建設され 80 年以上経過した橋梁が多くあり、老朽化への対策が必要です。また高度経済成長期に建設された橋梁も多く、これらが今後一斉に架替え時期を迎えます。
- 大きな財政負担の発生が予想されることから、計画的かつ予防的な維持管理へと転換し、維持管理費の縮減を図り、道路ネットワークの安全性と信頼性を確保します。



橋梁長寿命化修繕計画の対象とする橋梁

- 江東区が管理する橋梁の内、撤去予定（9 橋）の橋を除いた道路橋及び人道橋・横断歩道橋 76 橋を対象としました。
- 管理する橋梁を橋梁の特性に応じてグルーピングを行い、それぞれのグループごとに維持管理方針を定めました。

グループ	橋梁の特性	評価指標	管理方針	橋梁数
A	景観を重視する橋梁	・重要文化財 ・都市景観重要構造物指定橋梁	・景観・美観を重視して維持管理を行う。	5橋
B	地域防災上重要な橋梁(i)	・緊急輸送道路上の橋梁	・緊急時利用を重視して維持管理を行う。	5橋
C	地域防災上重要な橋梁(ii)	・障害物除去路線上の橋梁(江東区指定)		17橋
D	A~C以外の道路橋	-	・構造安全性を重視して維持管理を行う。	35橋
E	A~C以外の人道橋・横断歩道橋	-		11橋
F	その他	・他事業との関連により補修・架替えを実施する橋梁	・対処療法的に補修を行い架替に備えて管理を行う。	3橋

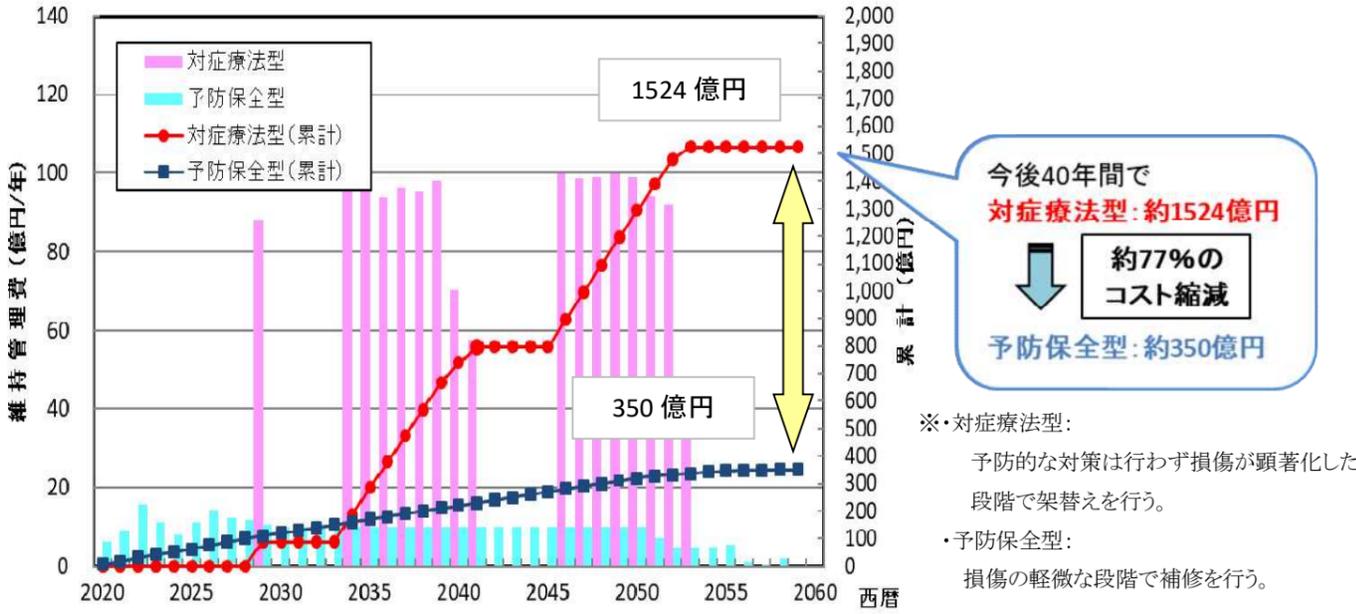
○維持管理方針は計画保全型を基本とし、耐震補強や河川改修等の他事業との関連を踏まえた計画としました。

計画策定

- 橋の劣化度合を判断するための点検マニュアルを見直しました。
- 橋の健全度を評価するための基準を、部材（鋼、コンクリート）及び劣化機構（腐食、塩害・中性化・疲労）ごとに決めました。
- 橋の部材（床版、鋼部材、下部工）ごとの劣化予測モデルを作成しました。
- 維持管理シナリオと対策工法を設定し、橋梁ごとの管理方針に基づいて維持管理シミュレーションを行い、2020 年度から 100 年間の事業費を算出しました。

橋梁長寿命化修繕計画による効果

- 維持管理費の縮減と平準化を図ることができます。
- 道路ネットワークの安全性と信頼性を確保することができます。
- 文化的価値のある橋梁を後世に残して行くことができます。



今後 10 年間の計画

- 今後 10 年間で大規模改修工事（架替え含む）12 橋
- 都市計画等他事業との関連による架替え工事 3 橋
- 塗装・補修工事 19 橋
- 5 年に 1 度の定期点検において計画の見直し

ご意見を頂いた学識経験者

◆ご意見を頂いた学識経験者
芝浦工業大学 工学部 土木工学科 勝木 太 教授